



学校だより 3月号

～豊かで調和のとれた子の育成～

【た】くましく生きる人 【な】かよく生きる人

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/tana/>



みのたなくん

よりよい学校づくりアンケートとお礼

校長 酒井 浩明

寒さの中にも、暖かい日差しに春の訪れを感じるころとなりました。

今回は、昨年末に保護者の皆様にご協力いただいた「よりよい学校づくりアンケート」の結果がまとまりましたので、その一部をご紹介します。

2月12日に行いました「まちとともに歩む学校づくり懇話会」では、ご説明をさせていただきましたが、今年度は、昨年まで以上にとってもよい評価をいただきました。

保護者の皆様への詳細説明は、学校説明会・懇談会にて配付する資料に譲りますが、いくつか例を挙げると

「お子さんが主体的に学習に取り組むように指導している。」の項目で、そう思うと答えた方が、

H30：33% → R1：35% → **R2：43%**

「お子さんの考えを引き出し、思考力・表現力を育てる学習に取り組んでいる。」では、

H30：37% → R1：31% → **R2：40%**

「お子さんのよいところを見つけ、自信をもたせる教育活動をしている」では、

H30：36% → R1：40% → **R2：50%**

でした。

全校で算数の時間に解き方などを子どもたち一人ひとりが書いて説明する活動に力を入れる重点研究の取組とともに、4年生以上の家庭学習では、『たなっ子家庭学習の手引き』にある「調べ学習」を発展させた、自ら学ぶ力を育てる「自分の力や興味・関心を活かして課題を決めて深める家庭学習(自主学習ノート)」など、4月の学校だよりに運営目標としてかかげた『温故創新』の取組を認めていただいているのかなと、昨年度にも増して教職員とともに喜んでいきます。



<5年自主学習ノート>

コロナ禍の中ではありましたが、このような嬉しい評価をいただける、より通常の教育活動に近づけた取組ができたのも、保護者の皆様、地域の皆様、関係機関等、「子どもたちを中心」にご協力いただける「地域田奈」の皆様に、本校の教育活動を支えていただいたお蔭です。

具体的には、登校時の西門前横断歩道他での児童の見守りや田畑での農業体験活動へのご協力、朝の読み聞かせ活動やわら草履づくりの活動、ミシンボランティアや学援隊などのご協力とともに、新型コロナウイルス予防に関わる寄付等でも支えていただきました。感謝いたします。

さて、緊急事態宣言のため校庭での校内発表会を3月2日に変更した特設課外クラブトランペット鼓笛隊ですが、間もなく活動を始めてから30年を終えようとしています。

このたび、その功績が称えられ、井上太市先生が「横浜市教育委員会表彰」を受けることになりました。長年にわたり、子どもたちの個性を伸ばす取組にご尽力いただいていることに、本紙面をお借りして感謝を申し上げます。ありがとうございました。

コロナ禍は、まだまだ油断できない状況ですが、子どもたちが将来生きる社会の在り方を見据え、引き続き「温故創新」を目標に、限られた時間の中で、地域田奈の特徴を生かしたよりよい教育活動が実施できるように工夫や改善、選択と集中を進めて参ります。

保護者・地域の皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

また、お子さんには、この一年間でできるようになったことだけでなく、粘り強さや自主性、思いやりや協調性などの見えにくい力についても確かな成長の姿を認め、一緒に喜び、今後の成長の糧となるお声掛けをお願いします。